



あきる野市議会議員

2011年11月15日号
「活動・成果報告編」

こごもり敏人の 議員活動レポート

編集・発行：こごもり敏人と市民の会 〒197-0801 あきる野市菅生1753

報告会やります！ 議員マニフェスト中間検証会！

2011.11.27(日)

〈検証会の内容〉

- ・こごもりよりマニフェスト進捗の報告
- ・参加者との意見交換

【第1会場】13:00～15:00

五日市地域交流センター「第3研修室」

【第2会場】18:30～20:30

あきる野ルピア「産業情報研修室」



※今回は同じ内容の報告会を「市内2か所」で行います。

中間検証会の開催趣旨

私は2年前の市議会議員選挙の際に、53項目からなる議員マニフェスト「10の力(ちから)を育むまちづくり」を掲げ、この間、議会での一般質問をはじめ、決算審査や会派の予算要望など、あらゆる機会と所属する会派「志清会」の仲間の力も借りながら、このマニフェストの実現に懸命に取り組んできました。私は地方議員であっても選挙時に掲げた公約(マニフェスト)の取り組み具合を市民の皆さんに説明し、点検・検証しながら次へ進んでいくという姿勢・サイクルが大事であると考えています。そこで、政治活動の一環として、任期が折り返したこの時期に、全国的に珍しい「議員マニフェストの中間検証会」に取り組みます。検証会では、裏面に掲載しているマニフェストの進捗具合を基礎資料にして、補足説明などをさせて頂き、皆さんからのご意見も頂戴できればと考えています。



こごもり敏人プロフィール

昭和48年7月12日、秋川市(現あきる野市)に生まれる。【学歴】多摩川幼稚園、多西小学校、御堂中学校、東海大学菅生高等学校、立教大学経済学部卒業。立教大学大学院「21世紀社会デザイン研究科」修了、市民活動や地方自治、地域力などを研究。

【職歴】大学を卒業後、新聞記者を経て、2009年のあきる野市議会議員選挙で初当選。現在、市議会の福祉文教委員長を務める。

「こごもり敏人マニフェスト2009」→



議会で問う！ 職員採用説明会の実施等を提案！

〈9月議会・一般質問報告〉

- ① 行政力の強化に向けた人材確保と育成について
- ② 子育てパパ支援について ③ 市道440号線の雨水対策

※ 一般質問とは、市政全般について議員がテーマを決め、質問する機会です。



Q〈質問の内容〉 ①は地方分権や行財政改革が推進される中、少数精鋭に適応した人材確保や職員の自己啓発を促す施策を提案。職員採用説明会や、社会実績を持つ人材を経験者採用や任期付き職員採用として登用する考え、そして大学院への通学奨励などを提案しました。②では育児に積極的な男性が最近「イクメン」と呼ばれ注目される中、あきる野市でも父親の育児参加やネットワークづくりを後押しする講座や事業を展開してはどうかと提案。③は菅生地域の子どもたちと一緒に行った「通学路の安全点検」などを基に、市道の改修を提案。



↓ ↓ ↓

A〈市側の答弁〉 ①では、より良い人材の確保へ、来年度から職員採用説明会を実施。経験者採用や任期付き職員の採用も今後実施の方向で検討する。また「通信教育の受講料の一部補助」の対象枠を「大学院などの通学教育」にも広げ、職員の職務能力の向上を組織としてサポートしていくとの方針が示されました。②については、子育て家庭における父親の育児参加の重要性は大いに認識しており、まずは子育て講座の開催時や母親の子育てサークルの会合時において、父親の育児参加に関するアンケートを行い、育児参加の意識が高い父親の参加を得ながら、グループ化やネットワークづくりに取り組みたいとの答弁を得ました。そして③では橋面舗装の経年劣化により、水溜まりが発生している下菅生橋は橋面の補修工事を実施する。また道が川のようになってしまう夫婦橋から追分橋の間には、雨水を排除する「横断側溝」を設置するとの答弁でした。



ホームページ随時
更新してます！

<http://www.kogomori.com>
活動レポートのバックナンバーも掲載！



ブログで日々の活動
を報告しています！

<http://blog.kogomori.net>
市の行事案内なども掲載！

着手率75%!

①市民力

- ・「市民参加条例」の制定 → 「市民協働推進条例」の制定として提案。市は条例制定の必要性について検討すると答弁。
- ・様々な市民団体の活動支援 → ボランティア団体やNPOなどの活動拠点整備、ネットワークづくりを要望。
- ・市民協働センターなどの市民活動拠点の整備 → 23年6月議会で整備を提案。市は既存施設の利活用を含めて整備を検討すると答弁。
- ・NPOや社会起業家の育成 → 23年3月議会でNPO設立の相談体制充実を訴え、市も総務課で対応していくと答弁。
- ・市民団体の活動を支援する「社会貢献市民ファンド」の設立 → 先進地である相模原市の「市民ファンドゆめの芽」等をヒアリング。提案へ準備中。
- ・寄附条例の制定 → 22年3月議会で制定を提案。市は寄附制度の充実へ協議・研究していくと答弁。

②議会力

- ・更なる議員定数の削減と、議員の多選自粛を検討 → 定数に関する議会としての具体的な検討は現在行われていません。
- ・議会がなすべき役割をきちんと定める「議会基本条例」の制定 → 23年3月にまとめられた「議会改革検討委員会」の答申書に、「基本条例の制定に向け今後検討する」と明記。
- ・議長選挙における「議長マニフェスト」の導入 → 議長選挙の立候補制や所信表明などを提案するも実現には至っていません。
- ・議会事務局の機能を高め、議会の情報力や企画立案力を高めます → 具体的な改善には至っていません。
- ・議員からの政策条例の提案 → 寄附条例の提案を検討。その取り組みは読売新聞(23年2月26日)にも掲載されました。
- ・議員からの情報発信の強化、視察報告会の実施 → 会派の会報「志清会だより」を定例会ごとに発行。3か月に1回の個人の「議会報告会」も21年8月から継続して実施中。

③財政力

- ・経常収支比率の是正 → 特別徴収の指定強化による税収確保を訴え、24年度までの100%指定に道筋。この他、基金運用の改善や未利用地の貸付、広告収入など財源確保を提案。
- ・土地開発公社の改善 → 市有地の未利用地と合わせ、公社の未利用地の積極的な貸付など利活用を提案し開始。
- ・公共施設におけるネーミングライツ（施設命名権）の導入 → 23年3月議会の一般質問で提案。市は導入事例等の調査・研究を開始すると答弁。
- ・市のあらゆる媒体を利用した「広告掲載」による新たな財源確保 → 市議会の一般質問で2度に渡って質問。バス車内の広告枠拡大などを展開。
- ・ゼロ予算事業の推進 → 企業をスポンサーとし寄付によるAEDの配置を提案。中央図書館や市庁舎に設置。

④産業力

- ・木材の多摩産材の流通・利用促進 → 今後建設される市営の（仮称）草花公園住宅への多摩産材の積極活用を会派で要請し、設計に反映。
- ・食の安全・安心を意識した地産地消の推進 → 具体的な施策の提案には至っていません。
- ・のらぼうをはじめ、秋川牛や牛乳などの全国PR、ブランド化 → 23年6月議会で「のらぼう菜サミット」の開催を提案。市は開催方法等を情報収集中。
- ・地域資源を生かした商品開発力の強化 → のらぼう菜の生産体制の強化やのらぼう菜の粉末化による汎用性アップを提案。

⑤地域力

- ・郷土の祭りや伝統芸能の徹底的な保護・育成 → 「全国地芝居サミット」の誘致へ向け、開催準備調査委員会の設置を予算化。
- ・地域資源・人事の発掘 → 地質遺産のジオパーク推進を提案し、市内在住の専門家による推進会議発足。
- ・地域の「居場所づくり」や「コミュニティづくり」を進め、人々の絆を育みます → 生涯学習の推進・充実による人々の出会いや地域デビュー、マッチングを推進。
- ・地域活動拠点の整備や地域イベント支援 → 五日市地域交流センターや地区会館、公共施設の計画的改修を予算要望等で要請。

⑥子育て力

- ・産科医療の充実や女性医師の確保 → 具体的な提案には至っていません。
- ・小児救急医療や病児保育の充実 → 子育てに励むお母さんたちのヒアリングを行うも、提案までには至っていません。
- ・医療費無料化の拡充 → 会派としての23年度の予算要望で、ヒブワクチンや子宮頸がんワクチンの接種補助を要望し、予算化。
- ・住環境の整備 → 具体的な提案には至っていません。
- ・公共施設で授乳やおむつ替えができる「あかちゃんの駅」の整備 → 22年9月議会で提案。市は今後のニーズの高まりに合わせて検討したいと答弁。
- ・子育てパパ支援 → 23年9月議会の一般質問で提案。市は育児参加に積極的な父親のグループ化やネットワークづくりに取り組みたいと答弁。

⑦いきいき力

- ・バリアフリーの推進や医療の充実 → 24年度の予算編成へ向けた23年10月の会派の予算要望で、阿伎留医療センターの医師増を要請。
- ・65歳以上の市民窓口の一本化 → 具体的な提案には至っていません。
- ・生涯学習事業の充実 → 22年6月議会で新生涯学習推進計画の策定について質問。市の考えを正して充実を求め、23年8月策定の新計画に反映。
- ・元気な高齢者グループの育成、奨励 → 具体的な提案には至っていません。
- ・障がい者が所得を得て暮らす環境の整備 → 三市収益事業組合の監査で、グッズ製作の地元の福祉作業所などへの発注を提案。
- ・60歳からの地域デビューを応援し、第二の門出を祝う「還暦式」の開催 → 22年6月議会で提案。市は今後、還暦式のような施策を検討したいと回答。

⑧教育力

- ・こどもたちが様々な目標にチャレンジできる学校づくり → 21年9月議会の一般質問で「小中一貫校の導入」を取り上げ推進。
- ・市民の芸術文化創造活動の推進 → 22年6月議会での質疑で、市民文化祭でのマッチングの充実などを提案。
- ・図書館機能や専門図書の充実 → 21年9月の決算審査特別委員会で、大人向け講座の開催や機能の充実を訴え。
- ・公立学校における学力や教員指導力の向上 → 具体的な提案には至っていません。
- ・世界に羽ばたく国際人の養成 → 国際姉妹都市マールボロウ市との交流を推進。中学生派遣を年6人から8人に増。
- ・五日市憲法を生んだ歴史ある街として、優秀な法曹家を育てるまちづくり → 具体的な提案には至っていません。
- ・これからの地域づくりを牽引していく人財を育てる「あきるの立志塾」の設立 → 関係者と意見交換はするも、具体的な提案には至っていません。

⑨観光力

- ・観光を「総合産業」として確立する「あきるの観光立市条例」の制定 → 具体的な提案には至っていません。
- ・都心の企業人をターゲットにした「金曜の夜から始まる観光」の検討 → 22年12月議会の一般質問で、観光振興の推進と合わせて取り上げ。
- ・学会や企業研修の誘致 → MICE戦略の推進を提起し、23年策定の新観光推進プランに明記。



⑩防災力

- ・「防災基本条例」の制定 → 提案には至っていません。
- ・災害時の要援護者対策の充実 → 避難所指定がされている公共施設の耐震化の前倒しを一般質問で要請。市は計画の前通しを決定。
- ・被災時の地域体制づくり（被災後3日間の生活物資や水の確保など） → 23年6月議会で自主防災倉庫の充実や携帯用トイレの備蓄を要望し、配備を充実。
- ・防災統括監の新設 → 22年6月議会で「危機管理監」の設置として提案。23年3月策定の「危機管理基本指針」の中で危機管理監の設置が明示される。
- ・消防団や防犯パトロールの強化 → 具体的な施策の提案には至っていません。
- ・水害、土砂崩れ対策の充実 → 会派の23年度の予算編成要望に明記し、予算化。